

進路は1日にして成らず

2024年05月01日(水)

今回の進路学習のテーマは高校選びをどのようにするかです。まずは前回みなさんが回答してくれた進路に対して感じている一部、不安の声を紹介します。

将来なりたい仕事がないから高校が分からない。

やりたいことがないからどんな高校に行こうかと全く決まっていなくて不安。

自分がどの高校に行くのが正解なのか知りたい。

ちゃんと高校に入れるのかとか大人になるのが怖い。

3年生にもなり、「がんばろう！」という気持ちはあるものの、今はまだ漠然とした中で不安を感じている人は多いと思います。また、ある調査によると中学生の2人に1人は「将来の夢や目標がまだ見つかっていない。」そうです。そこで、これから自分の進路を切り拓いていくみなさんに、三中の先輩たちが「志望校をどうやって決めたか」を次に、紹介したいと思います。

【志望校って、いつごろどうやって決めましたか？】

参考に
してね！



- 将来の夢におけて、いちばん近いと思う道を選びました。
- 保育士になりたかったから、保育の勉強ができる高校を探して決めた。
- 行きたい大学があったので、その大学に少しでも行きやすい学校を選んだ。
- 9月か10月ごろ。その学校が、自分のしたいことをたくさんできるところだと思ったから。
- 2学期くらい。オープンスクールなどに行って、何をしたいかとか成績とかも考えて決めた。
- オープンキャンパスに行って興味もったところを選びました。たくさんのところへ行くべき！！
- 焦って決めることじゃない。自分も2学期後半にやっと決まった。高校の説明会とか行きまくる。
- いっぱい学校見に行く！！制服とか設備とかで決めてもいいし、大学進路とか校則とかも見たほうがいい。目標は高くね！！
- 夏ぐらいに決めたほうがいいと思います。自分は冬に決めてしまって後悔してます。
- きちんと考えたのは夏ごろです。最初は都会だから、という理由だけで考えていましたが体験に行ったり、クラブ見学をしたりすると、本当に行きたい！と思えるようになりました。
- 用事で、公立の志望校のオープンスクールは行けなかったから、決めるときに雰囲気とかまったくわからないまま話が進んでいって不安やったから、絶対、オープンスクールは行ったほうがいいと思った。

○オープンキャンパスで自分が行きたいと思ったところ。

○自分がやっていたクラブの強いところに行こうと思って決めました。

○私は行きたいところがなかったなので、学力にあった学校を選びました。行きたいところや、やりたいことがこれから出てくるかもしれないので、この仕事に就きたい！！って思ったときに、勉強しとけばよかったと後悔しないように。とりあえず勉強をがんばってください！！

○とりあえず、家から近いところがよかったから、自転車で行ける範囲の高校を探した。あとは、自分に合う高校かどうかを調べる。

○最後の最後まで悩んで選びました。友だちがいてそこまで遠くないところを選びました。

○最初は成績が届いていなくても、理想をもってそれに追いつけるように勉強しました。それで最終的に自分の行けそうな高校を選びました。

○とりあえず調べてパンフレットもらう。2年生でも学校説明会に行く。

○やりたい部活があったのでその部活が強いところを選びました。勉強はしといたほうがいいよ。

○自分はきょうだいから話を聞いてて、同じとこにした。

○制服のかわいさ、行事の楽しさ、自分に合うかどうか。

○「なんでもいいわ〜」とか「べつに〜」とか適当に決めんと、目的をもって決めたほうがいい。

○1年のころからずっと行きたかった高校だったから公立はすぐに決まったけど、私立は最後の懇談まで迷った。

志望校の選択について、多くの先輩に共通しているのは「自分で実際にその学校を見て、選ぶ」ことです。先輩たちの言葉を参考にして、これから自分の進路を考えていきましょう！

追加情報

中学校と高校の違いは？

- ① 義務教育ではない
- ② 入学金や教科書代、授業料が必要になる
- ③ 行きたい学校を選び、受験できる
- ④ 入学試験がある（合格しないと入学できない）
- ⑤ 専門的な学科やコースがあり、学校によって学ぶ内容が異なる
- ⑥ 高校によっては、学ぶ時間帯や場所が選べる（単位制・通信制）
- ⑦ 留年や退学制度がある

などがあります。ここで、特に注意してほしいのが⑦です。中学校は義務教育なので、留年や退学はありません。しかし、高校では毎年約5万7千人（約1.7%）の高校生が途中で高校を退学しています。主な退学の理由の中には、

「勉強がついていけなかった。」
「学校の雰囲気や校風が合わなかった。」
「出席日数等が足りず、進級できなかった。」
「経済的な理由」



などがあります。高校は「入学すること」を意識しがちですが、大切なのは「卒業すること」です。本当に毎日通うことができるのか、最後までしっかりと学ぶことができるのかを考えて、高校選びをしていきましょう。